筆記課題

筆記課題

「財務会計実務」

|  |
| --- |
| １　作業時間  ９０分  ２　配付資料  問題用紙、解答用紙  ３　注意事項  １）指導員の指示があるまで問題は見ないでください。  ２）解答用紙に入所年月、番号、氏名を記入してください。  ３）テキスト、ノート等の資料は参照可です。  ４）電卓は使用可です。  ５）パソコンの使用、インターネットの閲覧は、不可です。  ６）試験中質問があるときは挙手してください。  ７）解答用紙のみを回収します。 |

【問題１】次の文章の①～⑦に適切な文字を入れなさい。

簿記とは一定期間における企業の経済活動を一定の記録方法で帳簿に記録・計算・整理し、企業の( ① )・( ② )・( ③ )の増減変化と、( ④ )・( ⑤ )の発生状況を明らかにする計算制度である。

　( ① )とは、企業が所有する現金、商品、建物、土地、債券などの財産をいう。( ② )は、銀行などから借金をしたり、物を買った代金が未払であるなど、将来何らかの支払いをしなければならない義務をいう。( ③ )とは、出資金と利益の蓄積分をいう。これらは、一定時点に作成される( ④ )により、( ⑥ )を明らかにする。

　( ④ )は、( ③ )を減少させた原因となった事柄を表し、( ⑤ )は、( ③ )を増加させた原因となった事柄を表す。これらは、一定期間の成績を表す( ⑦ )によって明らかにされる。( ⑥ )の( ③ )の増減の原因を( ⑦ )によって表している。

【問題2】㈱ポリテク商事は、備品を現金にて購入した。この取引によって、当社の資産、負債及び純資産（資本）の総額はそれぞれどのような影響を受けるのか記述とし適切なものは、次のどれか記号で答えなさい。

ア．資産及び純資産（資本）の総額は増加するが、負債の総額は増減しない。

イ．資産及び負債の総額は増加するが、純資産（資本）の総額は増減しない。

ウ．資産、負債及び純資産（資本）の総額はいずれも増減しない。

エ．資産及び負債の総額は減少するが、純資産（資本）の総額は増減しない。

【問題3】試算表に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

ア．試算表における借方合計金額と貸方合計金額が一致している場合には、複式簿記の自動検証機能により、仕訳帳及び総勘定元帳の記録はすべて正しいということが保証されている。

イ．合計試算表において、適切な手続きを行われていれば、借方合計金額と貸方合計金額は一致することはもちろん、それらの金額と仕訳帳の合計金額も必ず一致する。

ウ．残高試算表においては、一定時点におけるすべての資産、負債及び純資産（資本）の状態、すべての収益及び費用の状況が示される。

エ．合計試算表と残高試算表にはそれぞれ長所があるため、両社の特長を併せ持った試算表が存在し、これを合計残高試算表という。

【問題4】㈱ポリテク商事は、<資料１>の条件で銀行から金銭を借入れた。また、<資料２>は、当期の決算直前(令和X２年１２月３1日)における支払利息の記帳を示したものである。これらの資料を参照して①、②の問いに答えなさい。ただし仕訳の単位はすべて円とする。

<資料１>金銭消費貸借契約書の骨子

借入実施日：令和X１年９月１日

借入元本額：1,000,000

利率：年利3.6％

利払日と支払方法：2月及び8月末において月割計算した額を後払いする

元本の返済方法：令和X4年3月31日に一括返済する

<資料２>支払利息勘定の記帳(令和X2年1月1日～同年12月31日)

支払利息

2/28

当座預金 （

）

1/1

（

）（

）

8/31

当座預金 （

）

①当期の決算予備手続きにおいて残高試算表を作成した場合、そこに計上される支払利息として正しいものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

ア．24,000円　　イ．36,000円　　ウ．42,000円　　エ．54,000 円

②<資料１>の借入金が、当期の貸借対照表に表示される区分として正しいものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

ア．流動資産　　イ．流動負債　　ウ．固定資産　　エ．固定負債

【問題5】㈱ポリテク商事は商品300,000円を販売し、代金のうち200,000円を現金で受取り、残りを掛とした。当社は3伝票制を採用しており、〈入金伝票〉が以下のように作成されている場合、振替伝票に記入される仕訳として正しいものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

〈入金伝票〉

売掛金200,000円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ア．(借)売掛金 | 100,000円 | (貸)売上 | 300,000円 |
| 現金 | 200,000円 |  |  |
| イ．(借)売掛金 | 100,000円 | (貸)売上 | 100,000円 |
| ウ．(借)現金 | 100,000円 | (貸)売上 | 100,000円 |
| エ．(借)売掛金 | 300,000円 | (貸)売上 | 300,000円 |

【問題６】以下に示す〈資料〉に基づいた場合、当期末の当座預金勘定の残高として正しいものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

〈資料〉

決算整理前残高試算表(一部) (単位：円)

当座預金 1,254,300

A社は、決算に当たり、銀行勘定調整表を作成したところ、次の事象が判明したので、必要な修正を行う。

1．買掛金決済のために振り出した小切手のうち、185,000円が銀行に未呈示であった。

2．期末の売掛金入金のうち、354,000円が当社への連絡が未通知であった。

3．売掛金の振込額150,000円を誤って15,000円と記入処理していた。

ア．1,473,300円　　イ．1,558,300円　　ウ．1,743,300円　　エ．1,928,300円

【問題7】㈱ポリテク商事は商品280,000円を仕入れ、代金を掛としたが、その際誤って貸借を逆にして仕訳を行っていた。誤りを修正するための仕訳として正しいものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ア．(借)仕入 | 280,000円 | (貸)買掛金 | 280,000円 |
| イ．(借)買掛金 | 280,000円 | (貸)仕入 | 280,000円 |
| ウ．(借)仕入 | 560,000円 | (貸)買掛金 | 560,000円 |
| エ．(借)買掛金 | 560,000円 | (貸)仕入 | 560,000円 |

【問題8】次の文章を完成させなさい。ただし、①②⑧は下記の語群から選び、③～⑦は領収証のどの箇所の説明か(a)～(e)で答えなさい。

領収書の役割は、( ① )と( ② )の2つあり、( ① )は「商品やサービスの代金を支払ったことを証明するもの」で、( ② )は「支払った代金を再度請求されることを防ぐもの」である。

領収書は６つの基本ルールがあり、

・いつ発行したのかがわかるように、( ③ )へ領収書発行の日を書く

・誰が発行したのかわかるように、( ④ )へ領収書を発行する側の住所と氏名を記入し認め印を押す

・誰に発行したのかわかるように、( ⑤ )へ領収書を受け取る会社の正式名称を書く

・金額がいくらだったのかわかるように、( ⑥ )へ記載ルールに気を付けて書く

・何に対して支払ったのかわかるように、( ⑦ )へ明記する

・印紙は、( ⑧ )以上の領収書は必要

に注意し、税法や商法に基づき保存する。

*№*

★

領

収

証

但

内

訳

税

抜

金

額

消

費

税

額

(

％

)

収

入

印

紙

年

月

日

上

記

正

に

領

収

い

た

し

ま

し

た

様

(a)

(b)

(c)

(d)

東京都小平市○○

○○　○○　　印

(e)

＜①②⑧の語群＞

ア．30,000　　イ．商品注文の証拠　　ウ．50,000　　エ．二重払いの防止

オ．債務の弁済の証拠　　カ．20,000　　キ．後日代金を支払う約束を表す

【問題9】令和元年6月10日に㈱ポリテク商事は㈱能開工業から商品代金500万円を約束手形で受け取った。支払期日は4か月後の令和元年10月10日である。ところが、この約束手形には3ヵ所誤りがあった。下記の約束手形(見本)のどこに誤りがあるか語群の中から選び記号で答えなさい。また、3ヵ所の誤りのうち、この手形を無効にしてしまうものはどれか答えなさい。

代表取

締役印

約

束

手

形

Ｄ

2

1

4

0

1

6

*№*

*№*

殿

収

入

印

紙

金

額

支

払

期

日

令

和

年

月

日

支

払

地

支

払

場

所

上

記

金

額

を

あ

な

た

ま

た

は

あ

な

た

の

指

図

人

へ

こ

の

約

束

手

形

と

引

替

え

に

お

支

払

い

い

た

し

ま

す

東

京

小

平

市

能

開

銀

行

小

平

支

店

令

和

年

月

日

振

出

地

住

所

振

出

人

東

京

0

0

0

0

0

0

0

0

-

0

0

0

都

元

6

10

元

4

10

1,000円

代表取

締役印

株式会社ポリテク商事

￥５００，０００※

株式会社能開工業

東京都小平市小川西町2-32

代表取

締役印

＜語群＞

ア．手形金額　　イ．支払期日　　ウ．受取人　　エ．振出日

オ．振出地　　カ．振出人の署名

【問題10】㈱ポリテク商事の①～⑤の仕訳をしなさい。ただし、消費税の会計処理は税抜方式で行い、使用する勘定科目は下記から選択すること(消費税は10％とする)。

仮払消費税　　借入金　　支払手形　　旅費交通費　　消耗品費　　売掛金　　受取手形　　売上　　買掛金　　現金　　当座預金　　仮受消費税　　広告宣伝費　　水道光熱費　　仕入

①仕入先のテクノ工業㈱より部品を仕入れ、下記の納品書を受け取った。



②得意先㈱能開工業から、部品Aの注文を受け発送したときの納品書(控)である。代金は翌月末一括払いの契約をしている。



③帳簿、伝票等を現金で購入し、領収書を受け取った。



④7月5日にテクノ工業㈱から仕入れた部品B、２個に傷が見つかり返品した。

⑤テクノ工業㈱へ6月分仕入れ代金として、小切手を振り出して支払った。



代表取

締役印

【問題11】商品売買取引の記帳に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

ア．商品売買取引の記帳方法には、分記法、総記法、三分法などがある。

イ．分記法を採用する場合は、商品販売取引の記帳時点で、商品の売上原価が把握できる必要がある。

ウ．商品を購入する際にかかる運賃等の付随費用を引取費用といい、仕入原価に含めて処理する。

エ．三分法は取引を、出金伝票、入金伝票、振替伝票に区分して記入する方法である。

【問題１２】有価証券の記帳に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

ア．債券の利息を受け取ったときは、受取利息勘定又は有価証券利息勘定で処理する。

イ．売買目的で期末において保有している有価証券に対しては、時価法を適用する。

ウ．購入したときは有価証券勘定の借方に取得原価で記入し、売却したときは貸方に売却価額で記入する。

エ．有価証券には、国債、地方債が含まれる。

【問題１3】繰延資産として計上できないものは、次のうちどれか記号で答えなさい。

ア．研究開発費　　イ．社債発行費　　ウ．創立費　　エ．株式交付費

【問題１4】次の①～⑤の仕訳をしなさい。ただし、使用する勘定科目は下記から選択すること。

資本金　　手形売却損　　支払手形　　未払配当金　　繰越利益剰余金　　売掛金

受取手形　　別途積立金　　現金　　当座預金　　受取手形　　利益準備金　　不渡手形

①会社の設立に際し、株式250株を１株当たり80,000円で発行し、全額払い込みを受け、当座預金とした（資本金計上額に規定する原則額による）。

②取締役会において、増資を決定し、新たに株式100株を90,000円で発行し、全額払い込みを受け、当座預金とした（資本金計上額に規定する原則額による）。

③約束手形500,000円を取引銀行で割引き、割引料を差し引いた残額を同行の当座預金とした。なお、割引率は年7.3％、割引日数は73日間であった。

④定時株主総会において、繰越利益剰余金3,500,000円を下記のとおり配当及び処分することが承認された。

利益準備金：会社法に定める金額　　別途積立金：500,000円

株主配当金：1につき95円

なお、資本金、資本準備金及び利益準備金の勘定残高は、それぞれ15,000,000円、2,000,000円、1,200,000円であり、発行済株式数は25,000株であった。

⑤上記④の株主配当金について、小切手を振り出して支払った。

【問題１5】次の精算表の①～⑪にあてはまる金額を答えなさい。

